

2018年9月6日  
住友生命保険相互会社

国際協力機構（JICA）が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

住友生命保険相互会社（社長 橋本雅博）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が発行する「ソーシャルボンド」への投資を決定しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会課題の解決に資する事業を資金用途とする債券で、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「ソーシャルボンド」の特性に従った債券です。本債券の調達資金は、主に開発途上地域におけるインフラ整備など経済・社会発展への取組みを支援する有償資金協力事業に活用されます。

当社は、経営方針のひとつとして「CSR経営方針」を策定し、国連が提唱した持続可能な開発目標「SDGs」も踏まえつつ、CSR経営を推進しています。

その一環として、資産運用においては、環境・社会・ガバナンスといった社会的課題の視点を取り入れた「ESG投資」を行っており、本債券への投資もこうした枠組みに貢献するものと考えています。

引き続き、ステークホルダーからの期待に応え、社会への責任を果たすとともに、資産運用の高度化を通じて、運用収益の向上・確保に取り組んでまいります。

<本債券の概要>

発行体：独立行政法人 国際協力機構（R&I 格付け：AA+、S&P 格付け：A+）  
発行額：総額 200 億円  
年 限：20 年

以上